



こんにちは高橋です。

まだ残暑は続いています、今年の夏はとても暑かったですね。連日35℃位を記録し、夜は熱帯夜ということで皆さんのお宅はエアコン・扇風機が大活躍だったのではないのでしょうか。我が家もエアコン・扇風機が大活躍でしたが、古いタイプゆえ電気が心配です。古い電化製品は消費電力が多く、また最近ではヒーター・洗濯機・扇風機など多種わたって古い電化製品が火災を発生させてしまっているとニュースで耳にします。今後を考えるとここで思い切って買い替えなんて踏み切る余裕もないのが現実ですが・・・。

そんな我が家ですが、テレビの調子が悪く、画面が乱れては叩いて直し、そんな状態を1ヶ月繰り返していました。しかし、ついに全く写らなくなり、買う事となりました。今のテレビはみんな液晶で高額です。なんとか展示処分品の掘り出し物を見つけ安く買ったのですが、なんと痛み出費でした。とはいえ新品は気分のいいものでカード請求書が届くまではテレビを見るのが楽しい！そんな我が家です。



今、私達に出来ること・・・

3/25 能登半島地震	(建物損壊2,210棟)
4/15 三重県中部地震	(一部損傷122棟)
7/16 新潟県中越沖地震	(建物損壊4,279棟)

上記は今年に入ってから被害の出た大型地震です。気象庁のデータによりますと8月末現在で、2006年度の地震発生件数をクリアしてしまうほど多く発生しているのがわかります。先日千葉県で比較的大きな地震が続いていましたが、私達は地震から避けて通れない土地に住んでいるんだと改めて感じました。そこで“備えあれば憂いなし”地震に備えた家とはどういうものか？9/1(土)に『耐震セミナー』を開催しました。



3年前の中越地震後、リフォームしている家屋が多かったのに、耐震化が考慮されておらず今回の地震(中越沖地震)で被害を受けている住宅が多かったようです。

過去の被災データから家屋損壊原因と対策を詳しく説明をし、見た目重視の改修ではなく、建物診断をしてから何をどんな順番で改修していけばよいのか知っていただきました。

参加いただいた方は、普段確認できない床下診断の事例は特に興味を持ち、何の変哲もない床下が実はここが補強されていない、ここの接合がおかしいと指摘すると、皆さん頷き納得されていました。おうちも私達の体と同じようにまず**診断が大事**なんです。

そしてなんといっても“体験者の声”は私達にとってとても役立つ情報がたくさんあります。その中でも、今私達が何を備えておけばよいか次頁に記しておきますので参考にさせていただきます。



【阪神淡路大震災被災者のコメント】

- ・ライフラインの復旧で一番遅かったのがガス。
電気は比較的早い。
- ・ガスは止まっても電気が使えたので電気コンロ、カセットボンベコンロは役に立つ。
- ・ガスの安全装置が働いているのに気づけなかった。
- ・とにかく避難生活は水が無い！飲み水の確保は事前準備が必要。
- ・普段から風呂の水は溜めておくべきと実感した。トイレ・洗濯に役立つ。
- ・水を運ぶバケツ・ビニール袋の用意が必要。



【新潟中越沖地震ライフライン復旧日数】

発生2007年7月16日

- ・電気 7月18日復旧 (発生後 **2日**)
- ・水道 8月 4日復旧 (発生後 **19日**)
- ・ガス 8月27日復旧 (発生後 **42日**)

新潟県資料参照

セミナー参加者は・・・

- ・中越沖地震直後で日々関心を持っていたテーマであり、このセミナーは大変役立ちました。(K様)
- ・スタッフの皆様が親切かつ丁寧な説明をしていただき大変よく理解できました。ありがとうございました。最後に大震災で役立ったものや震災被災者からのアドバイスコメントなども詳しくお聞かせ下さり、とても役に立ちました。たくさんの詳しい資料の準備にも心より感謝です。(木村様)
- ・タイムリーな企画で、とても参考になった。(I様)
- ・非常に参考になりました。耐震診断についてはTV等で知っていましたが、実際に対話形式での説明が特に参考になりました。ありがとうございました。(松本様)
- ・非常に参考になりました。今まで人事のように思っていたが、真剣に考えたいと思う。今後、室内の安全(家具)についても勉強したい。(A様)



こんなはずじゃなかった失敗例①

これは実際にあった塗装工事の失敗例・回避例を皆様の参考になるよう特別に公開するものです。私どもも含め皆さんにはこのような失敗をして欲しくないと思い、シリーズでお伝えしていきます。今回は「近隣トラブル」です。

「ご近所とは仲良しだから大丈夫！」と書いていたらとんでもないことに…。もしこれを知っていればトラブルを事前に防ぐことができるでしょう。是非参考にしてください。

「ご近所トラブル」1

私のご近所もそうだったのですが、いきなりトラックが来て朝8時からガタガタ…。特に工事の挨拶もなかったのに何事？と思われたことないですか。朝からあまり気分のいいものではありませんね。ちょっとした些細なことが大きなトラブルに発展すること考えられます。

それと『ご近所とは仲が良いから大丈夫』という思い込みも捨てましょう。何かあったら言ってくれるだろうと思っても、工事車両が原因で車をぶつけてしまった等、後でご近所の噂になっていたら後味の悪い結果となってしまいます。こういった心理的不安は工事前挨拶で取り除くことができます。



【実際に多いクレームのご紹介】

- ・外壁塗装でお隣の車に塗料の滴がついてしまった。
- ・ご近所の塗装工事のとき、臭いが凄くて窓が開けられなかった。
- ・ご近所で解体工事をしていて、埃が飛んできて洗濯物が干せなかった。
- ・車が縦列していて邪魔だった。
- ・お隣で高圧洗浄をしていて布団がぬれた。 などこのように迷惑になるのは音だけではなくありません。



工事はどのように進められるのか、洗濯物などは干して大丈夫か？大きい車両の出入りはあるのか等、施主様に迷惑をかけないようにご近所への配慮も重要です。ご近所挨拶はどんな風にしてくれるのか聞いてみるのも良いでしょう。

【どの範囲に挨拶をすればいい？】

挨拶の範囲で最低限声をかけておくとい良いのは、向こう三軒両隣+裏の三軒です。

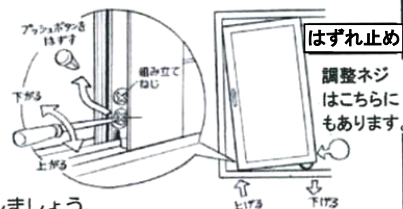
工事の内容によっては車の出入りや駐車問題、音・臭い・埃など直近周囲だけでは済まされない場合もあります。業者さんにはどこまで挨拶をするのかを聞いてみるのも良いでしょう。



市ちゃんの

サッシメンテナンス

夏場は窓の開け閉めを盛んに行う季節。気が付いたらサッシがガタついてすきま風が入ってくるようになった・・・なんてことはありませんか？ドライバー1本で調節できますのでトライしてみましょう。



- ◆少しはなれた所から全体をチェックし、開口部に狂いが生じていたら戸車の高さを調整しましょう。
 - ◆サッシ戸の側面下にあるプッシュボタン（無いものもある）を一度はずします。
 - ◆プッシュボタンの奥にある調整ネジを回し、高さを調整します。サッシをあげたい時には時計回りに、サッシを下げたい時には反時計回りに回して下さい。
 - ◆調整後プッシュボタンを戻します。
- ※サッシ戸をあげたい場合は、サッシ戸の側面上部にある はずれ止めを緩めてから戸車の調整を行ってください。また調整後は必ず「はずれ止め」を締めて下さい。

IDEA
イデア

住まいの問題解決隊 株式会社イデア
〒247-0033 横浜市栄区桂台南1-9-1グランポア2F
営業時間9:00～20:00 電話リ-ゲイ卜 0120-39-3992
ホームページ <http://www.y-idea.co.jp>

※イデア通信は、今までに工事をした方、資料請求いただいた方、セミナーに参加いただいた方を対象に配布をしています。ご意見・ご要望・ご提案なんでもお待ちしております。（熊澤）